

# 八光熱風発生機の特長

- ステンレスシースヒーターを使用していますので、クリーンで耐久性に優れています。
- 軽量化されコンパクトです。
- 安全性に優れています。
- 本体とコントローラーは分離できますので、各種装置へ容易に組み込みます。
- 堅牢です。

熱風発生機用シースヒーター



## —— シースヒーターと裸発熱線の違い ——

裸線のコイルを使用したヘアードライヤー、電気コンロ(昔の)などは、直接発熱線が目に見えます。これに対して、シースヒーターというのは、発熱線を金属シース(パイプ)に入れ、絶縁物で満たしたものです。熱風発生機にもシースヒーター使用品、裸発熱線使用品があります。

	シースヒーター	裸発熱線
構造	<p>ステンレスシース 絶縁物(マグネシア) 発熱線</p>	<p>発熱線</p>
寿命	シースで発熱線が保護されているので、雰囲気にかかわらず長寿命。	発熱線が外気に触れているので、腐食性ガスやほこりなど、雰囲気により短くなる。
発熱量	長時間使用しても、発熱量がほとんど変化しない。	雰囲気により、発熱線が腐食して、発熱量が低下していく。
絶縁	シースと発熱線が絶縁されている。	碍子などで絶縁する必要がある。
安全性	発熱線が露出していないので、漏電の心配がない。	水などがかかると、漏電する。

## コントローラー

## 熱風発生機本体の運転機能が充実 <HAP2000/3000シリーズ、100V熱風発生機の各機種共通>

### ○ 外部熱電対(熱電対2)の入力端子を設置

以下の制御が可能です。

- 外部熱電対で温度制御  
炉内やワーク近傍に配置した外部熱電対で、熱風発生機の温度制御が可能です。
- 外部熱電対で過昇温度異常を監視  
過昇温度異常発生時に、ヒーターへの通電を停止します。
- 本体内蔵熱電対と外部熱電対で2点温度制御  
一方の熱電対で温度制御を行いつつ、もう一方の熱電対が設定された温度を超えたら送風運転に切替えます。温度が下がったらヒーターへの通電を再開し、熱風運転を行います。

### ○ 外部信号で運転開始/停止を制御

上位制御機器での運転制御を可能にし、ラインの自動化に貢献します。

### ○ 各種異常発生時に、信号を出力

上位制御機器での異常監視、集中管理に貢献します。

### ○ 外部温度調節器の制御信号で熱風発生機の温度制御が可能

お客様が使い慣れた温度調節器をご利用になれます。プログラム機能付のコントローラーを使用すれば、プログラム温度制御が可能になります。

### ○ 遅延タイマー機能を付加

熱風運転を停止する場合に、自動的にヒーターを冷却します。

### ○ 安全機能充実

過昇温度異常発生時に、仮にコントローラーが故障しても、熱風発生機本体に組み込まれた安全回路でヒーターへの通電を停止します。

## ⚠ 熱風発生機使用上のご注意

- 定格電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因になります。
- 改造は行わないでください。
- 爆発・引火性のある雰囲気内では絶対に使用しないでください。
- 吸入口には布きれ、紙片などが吸着しやすいので、特に注意願います。